

## 干潟のカニの分布 (3)

### ■ カニの分布

今年3回目のカニの分布調査を導流堤近辺で実施した (Fig.1)。石を積んで造られた導流堤にはケフサイソガニ (Fig.2) が生息していた。排水機水門付近の泥地にはチゴガニが見られた。

導流堤の積み石には多数のカキ・フジツボ (Fig.3) が付着し、タマキビも見られた (Fig.4)。オキアミを落とすとケフサイソガニやハゼ類が多数集まってくる。震災後に再建された導流堤だが、震災前の姿が少しずつ戻っているように思われる。なお、震災後これまで確認していなかったネズミゴチを干潟内で採集した (Fig.5)。



Fig.1 蒲生干潟のカニの分布

 ケフサイソガニ

 チゴガニ



Fig.2 ケフサイソガニ  
オスのハサミに毛がある

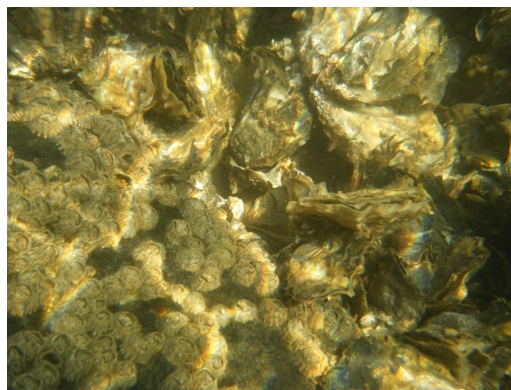


Fig.3 導流堤の石についたカキ、フジツボ



Fig.4 タマキビ



Fig.5 ネズミゴチ